

## 「機内に持ち込む手荷物」 (手持ちバッグに入れる持ち物)

☑	持ち物	説明
☐	パスポート	パスポートは、現地到着まで頻繁に使います。すぐに取り出しができる場所に入れて持っていきましょう。また、パスポートの顔写真のページをコピーし、いざという時のためにスーツケースの持ち物なかに入れておきましょう。
☐	査証 (ビザ)	国や取得されているビザによっては、入国審査時にビザ取得を行うこともあります。詳しくは出発前にご案内いたしますのでご安心ください。
☐	入国審査時に必要な書類	国やビザによって入国審査時に残高証明の提示が必要な場合があります。詳しくは出発前にご案内いたしますのでご安心ください。
☐	航空券	Eチケットは携帯電話のなかにデータとして保存、持って行くという形でも問題はありませんが、念のため、プリントアウトしておきましょう。
☐	海外留学保険 保険証書	保険証書を紛失してしまったときにも困らないようにコピーを取り、スーツケースにも入れておきましょう。未成年の方の場合は、原本は持参し、保険証書のコピーをご両親様に預けておくようにしましょう。
☐	携帯	トラブルの多い入国審査完了し、ホストファミリーや現地スタッフと会えるまでは、利用できる状態にしておきましょう。現地でもsimカード*を入れ替えて利用できるようsimロック解除しておくといでしょう。
☐	クレジットカード ／国際キャッシュカード	海外はキャッシュレス社会ですので、現金よりもカードを利用するシチュエーションが多くあります。クレジットカードを持っていないという方で且つクレジットカードを作ることのできるご年齢の方であれば、渡航前にカードを作っておくようにしましょう。未成年の方、クレジットカードの作成が難しい方場合は国際キャッシュカードを作成しましょう。すでにクレジットカードをお持ちの方の場合、4桁の暗証番号、あわせて海外のATMでのキャッシング可否を事前に確認しておきましょう。
☐	現金	日本円にして3～5万円程度、外貨に替えて持っていきましょう。海外はいずれもキャッシュレス社会で、あらゆる場所でクレジットや国際デビットカードの利用が可能のため、あまり多くの現金を持って行く必要はありません。日本円から留学先の通貨に換金できる場所は、郵貯、銀行、空港での換金所などが一般的です。 国際線の場合、チェックインしてから飛行機の離陸まで2時間はありますので、日本を出発するその日に空港で換金するでも、まったく問題ありません。ただ、ある程度まとまった額を為替のレートがいいときに、換金したいと考えている方の場合、事前に銀行や郵貯でのお手続きをするとよいでしょう。ただし、珍しい通貨になると、通常取り扱いがないという金融機関もあるため、希望通貨が希望額、取り扱いがあるかどうか事前に電話にて確認しておくといでしょう。
☐	筆記用具	飛行機の中で、入国審査カードの記入などあるため、ペンを1本、鞆に入れておきましょう。
☐	到着時の緊急連絡先や ホストファミリープロフィール	入国審査時に滞在場所を聞かれたり、思いがけぬトラブル時にあったりした際に必要となる可能性があります。
☐	パソコン／その他デバイス	iPadやパソコンなど、必須ではありませんが、留学中のバイト探しやシェアハウス探し、日々の勉強や映画鑑賞などがあると便利です。ただし、持って行く際は、スーツケースに入れる持ち物の方には絶対に入れないように！